

■ 報告事項

(1) 令和6年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

令和6年度 事業計画

【基本方針】

令和5年度における観光業界は、新型コロナウイルス感染症が5月に2類相当から5類へ移行され、全ての旅行が本格的に動き出す年となり、全国的には国内旅行や訪日旅行を中心に回復を見せはじめ、観光の再生に向けた大きな一歩を踏み出した年となりました。また、大津市においては、官民一体となった『大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会』により準備を進めてきた観光推進事業が1月よりドラマの放送と共に開始され、紫式部ゆかりの石山寺に開設した「光る君へ びわ湖大津 大河ドラマ館」や「源氏物語 恋するもののあはれ展」は予想を上回るペースで入館者が訪れるなど、好調な滑り出しとなりました。

令和6年度は、こうした良い流れを更に確固たるものとし、大河ドラマ協議会と連携した事業の推進に努め、大津市全体の活性化につながるよう取り組んで参ります。合わせて、2025年に開催される「関西万博」を契機としたインバウンド需要拡大に向けての台湾現地プロモーションや、滋賀県を中心に開催される「わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ2025」に向けての物産振興を中心とした準備を進めます。また、びわ湖大津ならではの自然・文化・歴史・地域産業を活かした観光コンテンツとして、引き続き「びわ湖大津SDGs教育旅行プログラム」のマーケット定着を目指すと共に、インバウンドを対象とした高付加価値な観光コンテンツとして、アドベンチャーツーリズムのような旅行分野のコンテンツ創造に取り組みます。グローバルに求められているSDGsへの取組みや持続可能な観光の実現に向けて、引き続き第3次中期ビジョンの基本方針に基づき取り組んで参ります。

【公益目的事業】

1. 観光宣伝誘客事業 [26,053千円]

(1) コンテンツツーリズム誘客促進事業（自主）

多様化するターゲットの嗜好を明確にしたコンテンツツーリズムの展開として、機会を捉えた的確な情報発信を行いびわ湖大津の認知度向上及び誘客促進を図る。

①大河ドラマ「光る君へ」紫式部ゆかりの地・大津の情報発信

(ア) 光る大津へ平安貴族おもてなし事業

期 日 令和6年5月1日（水）～令和7年1月31日（金）

内 容 紫式部・源氏物語ゆかりの地を盛り上げるボランティアスタッフの選任を行い、平安貴族の写真撮影やイベント業務などを通して市内各所でおもてなしを行う。

(イ) 紫式部ゆかりのびわ湖大津観光PRキャンペーン・キャラバンの実施

期 日 令和6年春期及び秋期

内 容 紫式部ゆかりの地・大津のPRを図るため、春と秋の観光シーズンにあわせて、県外でキャンペーンやキャラバンを実施する。

(ウ) 広域連携イベントの実施

期 日 令和6年4月1日（月）～令和7年1月31日（金）

内 容 石山寺や三井寺、大津市歴史博物館などの観光拠点などを会場に、他市町と協働したPRキャンペーンや体験イベントを実施する。

②コンテンツや季節の話題に対応した情報発信（補助・自主）

びわ湖大津が舞台となった小説やアニメ・マンガ等のコンテンツや四季折々の話題など、メディアや旅行会社等の多様なニーズに応えた情報発信や、大津ならではのグルメや自然を活かした取り組みにより、びわ湖大津の認知度向上並びに誘客促進を図る。

(ア) 大津のうなぎブランディング事業

期 日 令和6年4月～令和7年3月

内 容 大津のうなぎを全国に発信するため、情報発信ツールの作成等により認知度向上と誘客促進に繋げる。また、先進地視察を通して市内でのイベント実施に向けた取り組みを行う。

(イ) びわ湖大津が舞台となった作品を活用した誘客促進事業

期 日 令和6年4月～令和6年11月

内 容 直木賞作品「塞王の楯」や小説「成瀬は天下を取りに行く」など、滋賀県大津市が舞台となった話題の作品のゆかりの地をめぐる取り組みなどを通してびわ湖大津への誘客を図る。

(2) 歴史的文化財を活用した誘客事業（補助・自主）

湖信会社寺の歴史文化と自然に囲まれたロケーションを活用し、各社寺における特別公開やご朱印の対応を行う。また、滞在型周遊を促進するため県内他市町と広域で連携し事業を実施する。

①びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）誘客キャンペーン

期 間 令和6年3月～6月、令和7年3月

内 容 桜の季節やゴールデンウィーク、初夏にかけて誘客促進を行う。

②大津市内社寺の特別公開や記念事業等の紅葉シーズンにあわせた誘客促進事業

(3) 観光プロモーション事業

WEBやSNS広告などのデジタル媒体や雑誌・フリーペーパー広告などのプロモーションツールの活用、また、季刊情報誌や観光ポスターの作成などを通して、ターゲットに沿った戦略的な広報宣伝活動を行う。

①デジタルプロモーション事業（委託・自主）

シーズンを通して大津観光の楽しみ方を紹介する観光ホームページ「びわ湖大津トラベルガイド」を活用した情報発信をはじめ、XやInstagram、Facebookなど各SNSの特性を活かした情報発信を強化し誘客促進を図る。また、WEBやSNS広告を活用した効果的なプロモーションを展開する。

(ア) SNSを活用した情報発信

(イ) WEB・SNS広告を活用したプロモーション

②観光宣伝物作成事業（補助・自主）

季節毎に大津観光の楽しみ方を紹介するパンフレットの作成と合わせて、連動したWEBサイトの公開やSNSの活用により、旅の提案を広く発信する。また、雑誌やフリーペーパー広告等を活用した効果的な情報発信も行う。

(ア) 季刊情報誌の作成

(イ) 雑誌・フリーペーパー広告を活用したプロモーション

③メディア広報PR事業（自主）

TV局や新聞社・出版社等のメディア媒体に向けた情報提供を行い、放映や掲載を通してびわ湖大津のPRを行う。

(4) びわ湖大津観光大使事業（補助）

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使を選任し、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS等を通じて大津の魅力を広く発信する。

• 令和7年度びわ湖大津観光大使選考会

任 期 1年（人数2名）

期 間 募集：令和6年12月～令和7年1月 選考会：令和7年2月

募集媒体 WEB・SNS、ポスター、チラシ 等

(5) 第70回びわ湖開き事業（自主）

湖国滋賀に春の到来と湖上観光の幕開けを告げ、びわ湖を訪れる観光客の安全を祈念すると共に、水の恵みに感謝し、びわ湖の環境保全を呼びかける。また、70回を記念した催しもあわせて行う。

開 催 日 令和7年3月8日（土）（予定）

場 所 大津港、外輪船ミシガン等

(6) 大阪・関西万博関連周遊促進事業（自主）

2025年「大阪・関西万博」の開催に向けて、万博協会公式HPへの情報掲載を通じて、びわ湖大津への誘致を目指した周遊促進事業を行う。

2. 観光客受入整備事業 [27,651千円]

(1) ライトアップ事業（補助）

夜間観光の促進による宿泊滞在型観光の推進を図るため、大津の豊かな自然や歴史ある建造物をライトアップする。

①びわ湖大津春のライトアップ 桜の琵琶湖疏水

日 時 令和6年3月22日（金）～4月14日（日）

場 所 琵琶湖疏水

②びわ湖大津夏のライトアップ

・近江神宮ライトアップ

日 時 令和6年7月19日（金）～21日（日）

場 所 近江神宮楼門

・西教寺光りの参道

日 時 令和6年7月27日（土）～9月8日（日）の水～日及び8月12日（月）・13日（火）

場 所 西教寺参道

・旧竹林院夏のライトアップ

日 時 令和6年7月27日（土）～9月8日（日）の土日祝及び8月15日（木）・16日（金）

場 所 旧竹林院

その他、市内事業者・地域と連携して新たなライトアップイベントの展開

(2) 「かるたの聖地・大津」誘客促進事業（自主）

かるたの聖地・大津の取り組みとして、百人一首や競技かるたを活用したイベントの開催や大津で開催される競技かるた大会の運営補助や宿泊斡旋等の受入支援などを行い、誘客促進を図る。

(3) 観光案内所運営事業（委託）

地元と連携を図りながら、石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営を行う。

(4) サテライト観光案内所運営事業（委託）

来訪客の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時の観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津市への誘客促進を図る。

(5) 観光ボランティアガイド活用事業（自主）

MICE・教育旅行の受入強化および来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

- ①研修会の開催による資質の向上
- ②ガイド人員拡充等、体制の充実

(6) びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業（自主）

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、将来的な基盤整備の検討を行う。また、大津港への延伸に伴う乗船前後の市内周遊促進を図り、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

(7) びわこ花噴水運転事業（補助）

(8) びわ湖湖岸スペースの観光活用検討（自主）

市内各種団体等と連携し湖畔のリゾートとして琵琶湖の水辺空間の観光有効活用を推進する。

3. 教育旅行受入対策事業 [7,000千円]

(1) 教育旅行誘致促進事業（自主・補助）

びわこビジターズビューローと連携し、旅行会社へのセールスやキャラバン、視察の誘致など、効果的と考えられる手法により教育旅行の誘致促進を実施する。

- ①BVBのキャラバンへの参加および旅行会社の視察対応
- ②部会によるセールスキャラバンの実施

(2) 情報発信事業（補助）

- ①ターゲットエリア及び旅行会社への情報発信

大津市ならではの教育旅行商品「びわ湖大津SDGs学習プログラム」のプロモーション等を含む、市内観光事業者の施設をPRする印刷物を県外の教育機関及び旅行会社へ送付し、大津市の教育旅行プログラムに関する情報発信を行う。

- ②教育旅行専門誌への広告掲載

教育現場および旅行会社等へ配布されている教育または旅行専門誌へ「びわ湖大津SDGs教育旅行プログラム」の記事広告を掲載して周知を図る。

(3) 教育旅行企画書・タリフ作成事業（補助）

会員事業者や旅行会社が販売活動に活用できる教育旅行企画書・タリフの作成および整備を進める。

(4) びわ湖大津ならではの教育旅行プログラムの造成（自主）

琵琶湖を中心とした環境や歴史文化の学習をさらに深めた体験学習プログラムの造成を図る。

4. MICE・インバウンド対策事業 [6,479千円]

(1) 大津市MICE推進室・びわこビジターズビューローと連携したプロモーション事業（自主）

大津市およびびわこビジターズビューローと連携して、MICE並びにインバウンドの誘客促進に取り組む。

- ①BVBインバウンド部会による商談会参加および情報提供
- ②大津市MICE推進室との情報共有とMICE受入支援

(2) 2025年大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要拡大事業（補助）

2025年大阪・関西万博を契機として、インバウンド需要の拡大を図るため、セールス及びプロモーションを行う。

(3) 着地型モデルプラン・コンテンツ（団体向け・個人向け）の整備事業（補助）

(4) 会員事業者のMICE・インバウンドセールス支援（補助）

国内で開催される商談会（VJTM等）へ参加する会員事業者セールス支援および情報発信サポート

(5) 京都市認定通訳ガイド活用事業（委託）

大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用と会員事業者との連携促進を図る。

(6) 外国語ボランティアガイドの活用事業（自主）

地域で活動するボランティアガイド「大津英語観光ガイドクラブ（OEGT）」と連携してガイドのスキル向上に向けた実地研修の実施など受入体制の充実を図る。

(7) 台南市旅行同業公會との友好協定活用事業（自主）

5. 広域観光振興事業 [13,387千円]

(1) 滋賀県・（公社）びわこビジターズビューローとの連携事業（自主）

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報発信と誘客イベント等を実施する。

- ①県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施シガリズム魅力向上・発信事業ならびにコンテンツ創出事業など
- ②県観光情報誌等への情報提供
- ③国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談
- ④会員に向けて県が行う各種観光支援施策の周知ならびに活用促進を図る

(2) 湖信会十社寺との連携事業（自主）

湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

(3) 大津市諸団体との連携事業（自主）

大津商工会議所、大津市国際親善協会、大津市公園緑地協会、比良比叡トレイル協議会など市内諸団体と連携を図り、地域における観光振興推進に取り組む。

(4) 大津志賀観光振興事業（補助）

より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

(5) びわ湖大津夏まつり事業（補助）

市内各団体と連携し、「びわ湖大津ビワコイ祭り」を開催する。

(6) 地域観光振興事業（補助）

大津市内の地域観光協会や諸団体が年間を通じて実施している、観光PRやイベント事業の活性化を通じて地域振興を図る。

(7) 市内観光事業への後援・協賛等（自主）

関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援・表彰等を行い、観光振興の機運醸成に努める。

6. 物産振興事業 [1,224千円]

(1) 物産プロモーション事業（補助）

WEB、SNS等での情報発信を積極的に行うとともに、大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会が行う事業等との連携により大津の物産をPRする。

①観光宣伝・誘客部会との連携事業

観光宣伝事業における季刊情報誌やSNS等を活用して大津の物産等の情報発信を行う。
また、大津のうなぎブランディング事業において観光宣伝・誘客部会と連携を図りながら物産PRを行う。

②大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会との連携事業

協議会が実施するキャンペーンおよびイベント等事業において大津の物産PRを図る。

(2) 市内外開催イベントおよび物産展等への出店事業（補助）

大津市内で開催される各種大会やイベントでの出店を通して、来訪客の満足度向上を図る。
また、滋賀県やびわこビジターズビューロー、そして大津市や大津商工会議所などの関係団体と連携するなかで、市外プロモーションとして商業施設等での物産展等へ出店する。

①近鉄百貨店草津店「近江路」（年2回）

②おいで～な滋賀in名古屋（びわこビジターズビューロー主催）

③大津祭に伴う物産展

④石山寺門前での物産展

⑤わた SHIGA輝く国スポ・障スポ2025リハーサル大会での物産展

⑥その他県内開催イベント等における出展 など

(3) SDGsの取組促進のための研修事業（補助）

物産振興部会会員を中心に、SDGsの取組を促進するため研修を実施する。

- SDGs取組事例視察

【収益事業】

(1) 物販事業（観光名刺台紙、観光キャラクター関連商品等）

(2) チケット販売事業（イベント入場券や企画乗車券類等）

(3) 市内開催イベント等での物販斡旋事業

(4) 旅行業事業

①びわ湖大津の自然や文化、また季節毎の特色を活かした募集型企画旅行の造成・販売

②びわ湖大津SDGs学習プログラムを中心とした教育旅行受入事業

③全国高校かるた選手権大会等の着型イベント受入事業

【会議】

1. 通常総会

2. 理事会

3. 専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝・誘客部会、MICEインバウンド部会、教育旅行部会、物産振興部会）

4. 地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）